

2024年

2024年3月5日

北海道地方 2月の天候

札幌管区气象台
気象防災部 予報課

概況

— 高気圧に覆われやすく少雪・多照。中旬は5月並の暖気が入り気温の変動大。 —

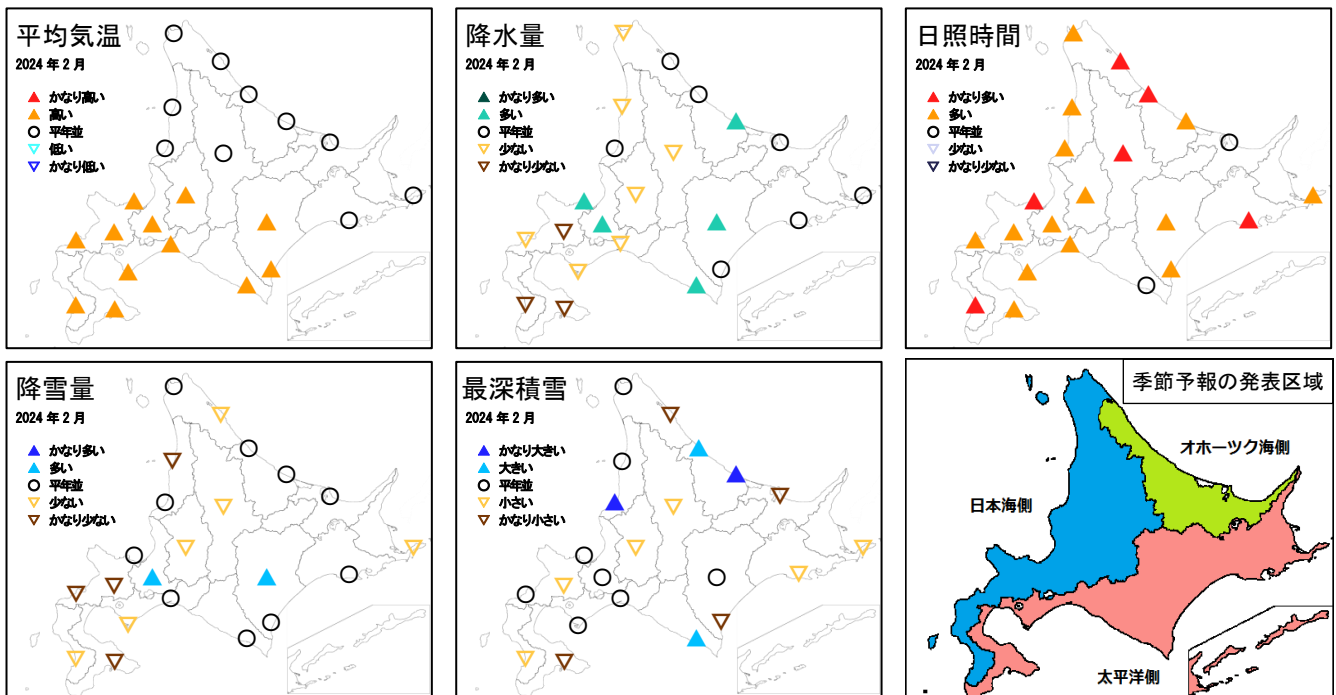
2月は、冬型の気圧配置が長続きせず、高気圧に覆われやすかったため、日照時間が多く降雪量は少なかった。また、中旬は上空1500m付近に5月並の暖気が入り記録的な高温となったのに対し、上旬と下旬は寒気の影響で平年並か平年より低く、気温の変動が大きかった。

上旬：冬型の気圧配置が長続きせず、高気圧に覆われやすかったため、全道的に晴れた日が多かった。このため、北海道地方の日照時間は多く、太平洋側ではかなり多かった。また、降水量は太平洋側でかなり少なく、日本海側及び北海道地方で少なかった。一方、オホーツク海側では低気圧や寒気の影響を受けやすかったため、気温が低く、降水量も多かった。

中旬：本州付近に位置する高気圧に覆われやすかったため、晴れた日が多かった。このため、北海道地方の日照時間はかなり多かった。また、北海道の北に位置する低気圧に向かって、南から暖かい空気が流れ込んだ日が多かったため、気温はかなり高く、北海道地方の気温の平年差は、1946年の統計開始以降、2月中旬として高い方から第1位を記録した。特に13日、14日、19日に最高気温が高くなり、この3日間合わせて、北海道内173観測地点中の160地点で、2月の極値を更新した。

下旬：冬型の気圧配置は弱かったが、北または北東の風で寒気が流れ込みやすかったため、北海道地方の気温は低く、オホーツク海側ではかなり低くなった。また、日本海側の降水量は少なかった。26日から27日にかけては、低気圧が日本の東を発達しながら北上した影響により、オホーツク海側と太平洋側ではまとまった雪となり、大雪となった所があった。このため、太平洋側では降雪量が多く、オホーツク海側では降水量が多くなった。

階級分布図



- ※ 本資料では、次のような階級を用いる。「低い（少ない、小さい）」「平年並」「高い（多い、大きい）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（かなり少ない、かなり小さい）」「かなり高い（かなり多い、かなり大きい）」と表現する。
- ※ 概況欄における気温の高い・低い、降水量と日照時間の多い・少ない、積雪深の大きい・小さいという記述は、前項の階級を基準とする。かなり高い・かなり低い、かなり多い・かなり少ない、かなり大きい・かなり小さいについても同様。
- ※ データは速報値であり、後日変更される場合がある。

月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.7	+	86	0	124	+	86	-
日本海側	+0.7	+	78	-	133	++	81	-
オホーツク海側	+0.4	0	99	0	120	+	96	0
太平洋側	+0.9	+	88	0	114	++	86	0

旬の統計値(地域平均)

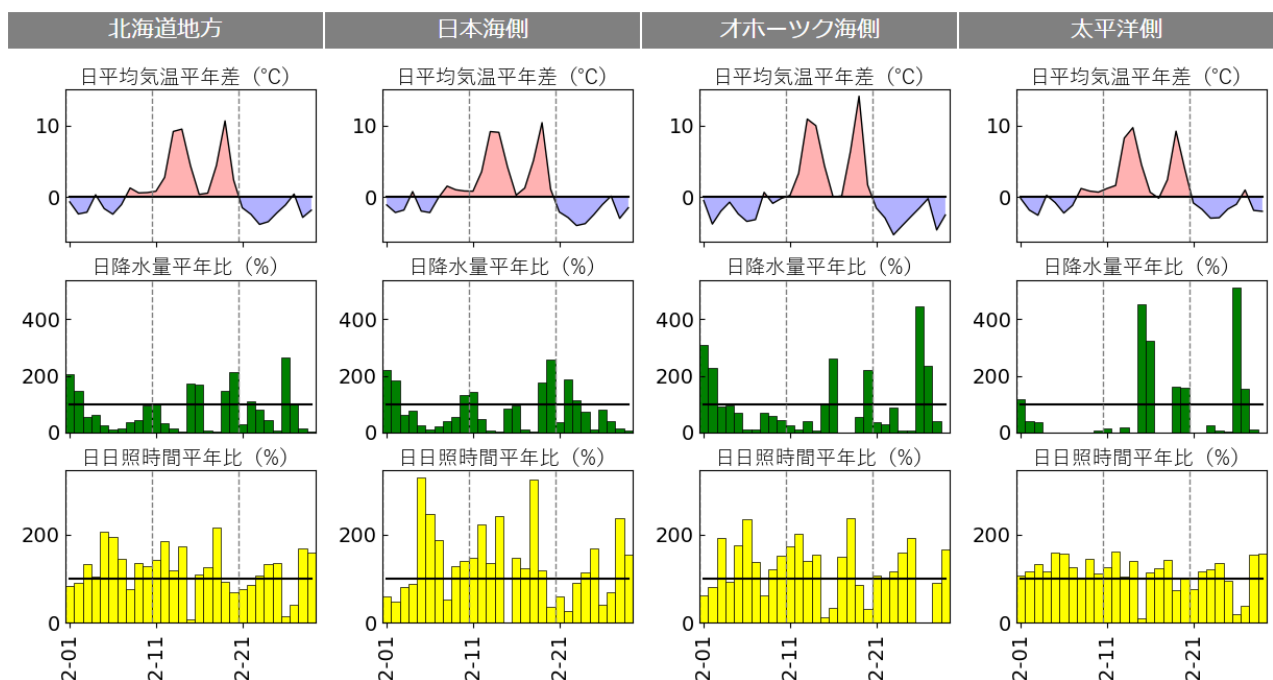
上旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-0.6	0	68	-	132	+	78	-
日本海側	-0.4	0	84	-	140	+	104	0
オホーツク海側	-1.4	-	121	+	128	+	115	0
太平洋側	-0.4	0	22	--	125	++	27	--

中旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+4.5	++	94	0	135	++	74	-
日本海側	+4.5	++	82	-	159	++	48	--
オホーツク海側	+5.2	++	73	0	125	++	71	-
太平洋側	+4.2	++	120	0	111	+	109	0

下旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-2.2	-	86	0	108	0	107	0
日本海側	-2.4	-	61	-	110	0	97	0
オホーツク海側	-3.0	--	119	+	108	0	103	0
太平洋側	-1.5	-	100	0	105	0	123	+

注) ・数値は、地域内の気象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

気象経過図



注) グラフ横軸(日付)の▲、×はそれぞれ、該当する日のデータが資料不足値、欠測であることを示す。

月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間			降雪量			最深積雪		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級	本年 cm	平年値 cm	階級	本年 cm	平年値 cm	階級
札幌	-1.9	+0.8	+	117.0	127	+	127.6	123	+	151	116	+	94	95	0
稚内	-4.0	+0.3	0	41.0	68	-	93.7	125	+	93	105	0	62	64	0
北見枝幸	-4.9	+0.5	0	47.0	83	0	131.9	130	++	95	110	-	68	98	--
旭川	-5.5	+0.5	0	42.5	78	-	128.9	134	++	73	97	-	77	84	-
留萌	-3.2	+0.5	0	57.0]	83]	0	98.6	141	+	105	120	0	172	86	++
羽幌	-3.7	+0.3	0	55.5	68	-	98.9	128	+	68	110	--	93	97	0
岩見沢	-3.7	+0.9	+	55.5	65	-	137.0	123	+	99	137	-	104	118	-
倶知安	-3.9	+1.0	+	69.0	53	--	88.0	135	+	134	187	--	157	181	-
小樽	-1.7	+1.0	+	128.0	120	+	101.4	130	++	142	130	0	116	117	0
寿都	-0.9	+1.0	+	54.5	62	-	62.2	133	+	67	114	--	76	71	0
網走	-5.4	0.0	0	34.0	81	0	144.6	105	0	59	69	0	21	58	--
紋別	-4.9	+0.4	0	46.5	140	+	140.4	123	+	89	77	0	96	58	++
雄武	-5.4	+0.7	0	32.5	90	0	142.6	123	++	67	71	0	84	66	+
釧路	-3.9	+0.4	0	21.0	85	0	214.3	117	++	27	27	0	18	26	-
根室	-3.5	+0.3	0	16.5	70	0	189.4	115	+	27	39	-	20	29	-
帯広	-4.8	+0.9	+	50.0	174	+	201.4	105	+	60	37	+	55	63	0
広尾	-2.7	+1.2	+	50.5	84	0	182.6	113	+	58	70	0	38	86	--
室蘭	-0.6	+1.0	+	21.0	47	-	149.1	121	+	28	45	-	23	22	0
苫小牧	-2.2	+1.0	+	21.5	57	-	157.0	109	+	31	42	0	29	28	0
浦河	-1.3	+0.8	+	44.0	152	+	174.7	109	0	35	35	0	18	16	+
函館	-0.4	+1.4	+	20.5	32	--	142.3	121	+	29	74	--	17	41	--
江差	0.9	+1.1	+	38.0	56	--	90.2	157	++	35	60	-	13	24	-

注) ・平年値は1991～2020年の30年間の平均値。

- ・階級の++は平年よりかなり高い(多い、大きい)、+は平年より高い(多い、大きい)、0は平年並、-は平年より低い(少ない、小さい)、--は平年よりかなり低い(少ない、小さい)を示す。
- ・「) 」付きの値は欠測を含む。「] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
2月	月降水量(少ない)	第3位	倶知安	69.0 mm	53 %	56.0 mm (1990)	1944
	月最深積雪(大きい)	第2位	留萌	172 cm	200 %	183 cm (1945)	1943

お問い合わせ先

札幌管区气象台 気象防災部 予報課
TEL (011) 611-0170